お願いとご注意

― 重要なお知らせ ―

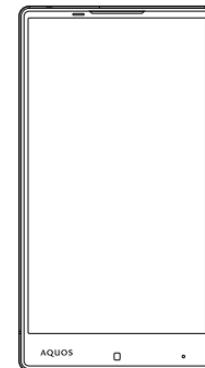
AQUOS *Xx*

目次

お買い上げ品の確認

このたびは、AQUOS Xxをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

■ AQUOS Xx本体

※ 電池は、本機に内蔵されています。
※ 本体の背面カバーは外れません。

■ テレビアンテナケーブル（試供品）

■ クイックスタート

■ お願いとご注意（本書）

■ 保証書

- 本書の内容の一部でも無断転載することは禁止されております。
- 本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。
- 本機【AQUOS Xx】のモデル番号は【404SH】です。
- 本機はmicroSD／microSDHC／microSDXCカードを利用できます。本書ではmicroSDカード（microSDHC／microSDXCカードを含む）を、以降「SDカード」と記載いたします。

マナーとルールを守り安全に使用しましょう

ルールを守りましょう

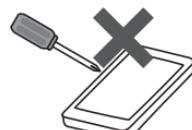
本機の使いかたを誤ると、機器の発熱・破壊・感電といった危険を伴い、死亡または重傷を負う恐れがあります。以下の内容および「安全上のご注意」(☞19ページ)をお読みのうえ、正しくお使いください。

⚠ こんな使いかたはやめましょう

■ 端子を接触させない

端子に金属製のヘアピンなどが触れないようにしてください。
ショートによる火災や故障などの原因となります。

■ 分解／改造しない

キャビネットを開けたり改造しないでください。感電やけがの原因となります。修理などはソフトバンクにご依頼ください。

■ 防水を過信しない

防水であっても、水中に沈めたり大量の水をかけると、内部に水が入り火災や感電の原因となります。また、真水以外はかけないでください。

■ 加熱しない

乾燥などの目的で、電子レンジなどの加熱調理機器に入れないでください。また、高温になる場所で使用しないでください。

■ 指定品以外は使用しない

充電器などは必ずソフトバンク指定のものをお使いください。

■ 運転中は使用しない

自動車などの運転中は絶対に使用しないでください。メールを見るだけで処罰の対象となります。

⚠ 指示に従って使用しましょう

■ 航空機内

航空会社の指示に従って、ご使用ください。
本機の電波により、運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

■ 病院内

各医療機関からの指示に従って、ご使用ください。
本機の電波により、医用電気機器に影響を及ぼす可能性があります。

マナーを守りましょう

**本機をお使いになるときは、周囲への気配りを忘れないようにしましょう。
次のような場所では、特にご注意ください。**

■ 電車やバスなどの交通機関
車内のアナウンスや掲示に従いましょう。

■ 劇場や映画館、美術館など
周囲の迷惑にならないよう電源を切っておきましょう。

■ レストランやホテルのロビーなど
静かな場所では、大きな声での通話は控えましょう。

■ 街の中
通行の妨げにならない場所で使いましょう。

■ 混雑した場所
事前に機内モードに設定、または、電源を切ってください。付近にペースメーカなどを装着されている方がいると、誤動作などの影響を与えることがあります。

マナーを守るための便利な機能

マナーモード
着信があったりアラームが動作しても、本機から音が出ないようにします。

簡易留守録
電話を受けられないとき、相手のメッセージを本機に録音します。

機内モード
電源を入れたまま、電波の送受信だけを停止します。

USIMカード／SDカードについて

SDカードについて

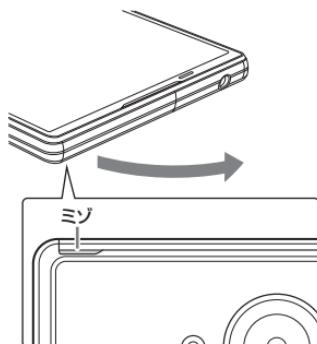
本機は、SDXC規格のSDカード(microSDXCカード)に対応しています。

- microSDXCカードは、SDXC規格対応機器でのみご使用いただけます。
- 本機とSDXC規格非対応機器との間でデータをやりとりするときは、本機と相手機器の規格両方に準拠したSDカード(microSD／microSDHCカード)をご使用ください。
- 万一、本機で使用したmicroSDXCカードをSDXC規格非対応機器に取り付けたときは、データが破損することがあります。また、フォーマット(初期化)を促すメッセージが表示された場合は、実行しないでください。
  - ■ フォーマットすると、microSDXCカード内のデータはすべて消去され、異なるファイルシステムに書き換えられます。
  - ■ フォーマットにより、本来の容量で使用できなくなることがあります。
  - ■ データが破損したmicroSDXCカードの再使用にあたっては、SDXC規格対応機器での再フォーマットが必要です。

SDカード利用時のご注意

- SDカードを無理に取り付けたり、取り外したりしないでください。
- SDカードは、小さなお子様の手の届かない所で保管／使用してください。誤って飲み込むと、窒息する恐れがあります。
- 端子面に手や金属で触れないでください。
- SDカードの登録内容は、事故、故障、修理、機種変更などの際や、その他の取り扱いなどによって、消失または変化してしまうことがあります。大切なデータは定期的にバックアップをとっておくことをおすすめします。なお、データが消失または変化した場合の損害につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- データの読み出し中や書き込み中は、絶対に本機の電源を切らないでください。
- データの消去や上書きなどにご注意ください。

カードの取り付け／取り外し

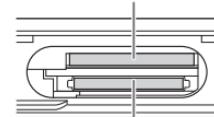
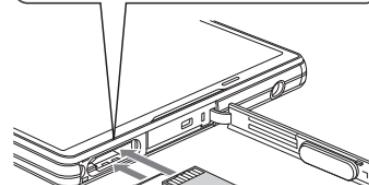
❶ ミゾに指先をかけて、カード挿入口キャップを開く

❷ カードの取り付け／取り外しをする

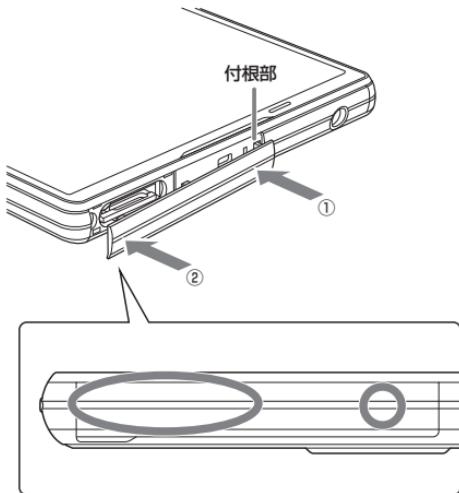
■ USIMカードについて

- 取り付け／取り外しは必ず電源を切ったあとで行ってください。
- USIMカードは、あらかじめUSIMトレイに取り付ける必要があります。
- USIMトレイを取り外す際は、USIMトレイを強く引き出したり、斜めに引き出したりすると、破損の原因となります。USIMトレイに指をかけて、ゆっくりと水平に引き抜いてください。

■ SDカードについて

- あらかじめSDカードのマウントを解除してください。
- SDカードを取り外す際は、SDカードを軽く押し込んだあと、指を離します。SDカードが少し飛び出てきますので、ゆっくりと水平に引き抜いてください。

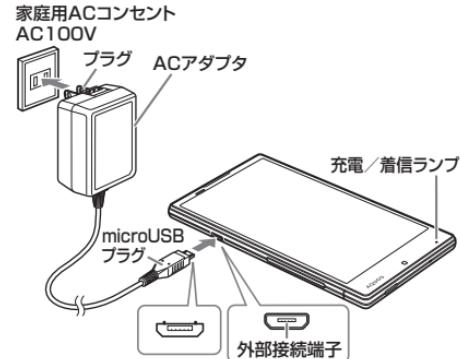
USIMカードとSDカードの取り付け位置は上下2段構造となっています。位置や向きに注意して差し込んでください。

❸ カード挿入口キャップを閉じる

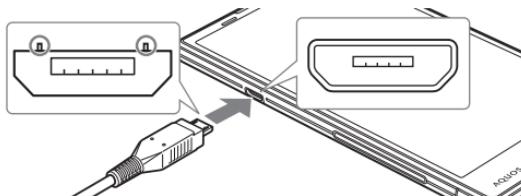
- カード挿入口キャップは、付根部を収納(①)したあと、矢印方向に押して、本機に押し込んでください(②)。
  閉じる際は、○部分をしっかりと押して、カード挿入口キャップと本機との間にすき間がないことを確認してください。

本機の充電

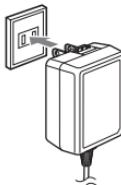
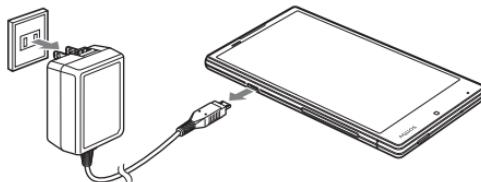
お買い上げ時、本機は十分に充電されていません。
本機を初めて使うときは、必ず充電してから、電源を入れてください。

- 電池残量が少なくなっていると、電源が入らないことがあります。
- 充電しても電源が入らない場合は、ソフトバンクショップへご相談ください。

ACアダプタを利用する

- ACアダプタはオプション品です。
  必ずソフトバンク指定のSoftBank SELECTION スマートフォン用Qualcomm® Quick Charge™ 2.0対応ACアダプタ[SB-AC12-HDQC]、ACアダプタ[SHCEJ1]、またはACアダプタ(microUSB 1.0A)[ZTDAC1]をお使いください。
- お使いになるオプション品の取扱説明書を参照してください。
- 次の操作は、SoftBank SELECTION スマートフォン用Qualcomm® Quick Charge™ 2.0対応ACアダプタ[SB-AC12-HDQC]を使用して説明しています。

❶ 本機の外部接続端子に、ACアダプタのmicroUSBプラグを差し込む

- microUSBプラグを誤った向きに差し込むと、本機の外部接続端子が破損することがあります。
  microUSBプラグの形状と向きをよく確かめて、突起(○部分)を上にして差し込んでください。

❷ ACアダプタのプラグを起こし、家庭用ACコンセントに差し込む

- 充電／着信ランプが赤色に点灯することを確認してください(電池残量がフル充電に近い状態のときは、緑色に点灯します)。
- 充電が完了すると、充電／着信ランプが消灯します。

❸ 充電完了後は、本機の外部接続端子から、ACアダプタのmicroUSBプラグを取り外し、ACアダプタのプラグを家庭用ACコンセントから抜き、プラグを元の状態に戻す

画面ロックについて

一定時間操作しないでおくと、画面が消え画面ロックが設定されます。⏻(本機右側面上部のキー)を押すとウェルカムシート(ロック画面)が表示されます。

- お買い上げ時は🔒を上にスライドすると、画面ロックが解除されます。
  セキュリティを強化するため、画面を指でなぞる形を登録して解除したり、ロックNo.やパスワードを入力して解除したりするように設定することもできます。詳しくは、ユーザーガイドを参照してください。

解除方法設定時のご注意

- 画面ロック解除に設定したパターン／ロックNo.／パスワードはメモに控えるなどして、お忘れにならないようご注意ください。お忘れになった場合は、最寄りのソフトバンクショップにて所定の手続きが必要となります。その際、お客様が登録／設定した内容が消失しますのでご了承ください。

暗証番号について

本機の使用にあたっては、次の暗証番号が必要となります。

操作用暗証番号	各機能を利用するときの暗証番号です(お買い上げ時は設定なし)。
交換機用暗証番号	ご契約時の4ケタの番号です。契約内容の変更や、オプションサービスを一般電話から操作するときなどに使います。

暗証番号はお忘れにならないよう、他人に知られないようご注意ください。

他人に知られ悪用されたときは、その損害について当社では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- 万一お忘れになった場合は、所定の手続きが必要となります。詳しくは、お問い合わせ先(☞78ページ)までご連絡ください。

暗証番号の入力間違いについて

- 各機能で暗証番号の入力を間違えると、間違いを知らせるメッセージが表示されます。操作をやり直してください。

PINコードについて

PINコードとは、USIMカードの暗証番号です。
第三者による本機の無断使用を防ぐために使います(USIMカードお買い上げ時は「9999」に設定されています)。

PINコードを変更する(USIMカードをロック)

電源を入れたとき、PINコードを入力しないと本機を使用できないように(USIMカードをロック)することができます。

1. **アプリシートで⚙(設定)➡その他の設定➡ロックとセキュリティ➡USIMカードロック設定**
2. **USIMカードをロック➡現在のPINコード入力➡OK**
   - USIMカードがロックされた状態となり、PINコードを変更できる状態となります。
3. **USIM PINの変更➡現在のPINコード入力➡OK➡新しいPINコード入力➡OK➡新しいPINコードを再度入力➡OK**

- PINコードの入力を3回間違えると、PINロックが設定され、本機の使用が制限されます。
- PINロックを解除するときは、お問い合わせ先(☞78ページ)で、「PINロック解除コード(PUKコード)」をご確認ください。
- PUKコードの入力を10回間違えると、USIMカードがロックされ、本機が使用できなくなります。このときは、「ソフトバンクショップ」にてUSIMカードの再発行(有償)が必要になりますので、ご注意ください。

おもな仕様

仕様変更などにより、内容が一部異なることがあります。

AQUOS Xx本体

サイズ（幅×高さ×奥行）	約79×146×8.7mm（突起部除く）
質量	約168g
最大出力	3G：0.25W GSM（900MHz）：2W GSM（1800MHz,1900MHz）：1W 4G：0.2W
内蔵電池容量	3,000mAh
連続通話時間※1	約1,350分（3Gモード） 約690分（GSMモード） 約1,300分（VoLTE※2モード）
連続待受時間※3	約450時間（3Gモード） 約410時間（GSMモード） 約400時間（4Gモード：AXGP網） 約410時間（4Gモード：FDD-LTE網）
フルセグ／ワンセグ連続視聴時間※4	約6時間（フルセグ） 約9時間（ワンセグ）
充電時間（本機の電源を切って充電した場合）	ACアダプタ［SB-AC12-HDQC］※5：約150分 ACアダプタ［SHCEJ1］：約220分 ACアダプタ（microUSB 1.0A）［ZTDAC1］：約220分 シガーライター充電器［SHJR01］：約320分

※1 連続通話時間とは、電池の充電を満たし、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。
※2 Voice over LTEの略。LTEのネットワークで音声通話を可能にする技術。
※3 連続待受時間とは、電池の充電を満たし、通話や操作をせず、電波が正常に受信できる静止状態から算出した平均的な計算値です。データ通信／緊急速報メールを無効に設定したときの数値です。また使用環境（充電状況、気温など）や機能の設定状況などにより、ご利用時間が変動することがあります。
※4 フルセグ／ワンセグ連続視聴時間とは、電池の充電を満たし、横画面フルスクリーン表示、画面の明るさのレベルを「中間」に設定、別売のマイク付ステレオイヤホンを使用し、音量最大、電池残量約10%を残した計算値です。
電波状況、再生コンテンツにより、ご利用時間が変動することがあります。
※5 SoftBank SELECTION スマートフォン用Qualcomm® Quick Charge™ 2.0対応ACアダプタ［SB-AC12-HDQC］

- お使いの場所や状況、設定内容によって、左記の時間は変動します。
- 液晶ディスプレイは非常に精密度の高い技術で作られていますが、画素欠けや常時点灯する画素がある場合がありますので、あらかじめご了承ください。

付属品

■ テレビアンテナケーブル

ケーブルの長さ	約136mm
質量	約5g
4極ミニプラグ	丸型、直径3.5mm、4極

使用材料

AQUOS Xx本体

使用箇所	使用材料／表面処理
ディスプレイ	強化ガラス
飛散防止フィルム	PET
ディスプレイの周囲	PA樹脂＋GF／UV塗装
キャビネット 天面	PC樹脂／UV塗装
キャビネット 底面	アルミニウム／アルマイト処理
キャビネット 側面（金属部）	アルミニウム／アルマイト処理
キャビネット 側面（樹脂部）	ABS樹脂
グリップセンサー	アルミニウム／アルマイト処理
グリップセンサー飾り	ABS樹脂
背面	アクリル樹脂＋PC樹脂／表面防汚処理
背面の周囲	PA樹脂＋GF／UV塗装
電源キー	ABS樹脂／UV塗装
音量Up／音量Downキー	ABS樹脂／UV塗装
イヤホンマイク端子飾り	アルミニウム／アルマイト処理
レシーバーメッシュ	SUS／電着塗装
カメラ窓	強化ガラス／防汚処理
カメラ飾り	アルミニウム／アルマイト処理
モバイルライト窓	PC樹脂
カード挿入口キャップ	PC樹脂＋エラストマー樹脂／UV塗装
カード挿入口キャップのパッキン	シリコンゴム
USIMトレイ	POM樹脂
IMEIトレイ	PET／印刷、オーバーコート
スピーカーメッシュ	PET／染色
外部接続端子	SUS／錫メッキ
ネジ	鉄／クロムメッキ

付属品

■ テレビアンテナケーブル

使用箇所	使用材質／表面処理
イヤホンマイク端子（外部）	スチレン系エラストマー樹脂
イヤホンマイク端子（中部）	PBT樹脂
イヤホンマイク端子（内部）	PA樹脂
イヤホンマイク端子（金属部）	Ni下地、りん青銅／金メッキ
コード	オレフィン系エラストマー樹脂
コネクタ	スチレン系エラストマー樹脂
コネクタ（接続部）	POM樹脂
プラグ（金属部）	Ni下地、真鍮／金メッキ
プラグ（樹脂部）	PP樹脂

安全上のご注意

ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。

- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

表示	内容
危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、**「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」**内容です。
警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、**「死亡または重傷を負う可能性が想定される」**内容です。
注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、**「軽傷を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」**内容です。

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

絵表示	内容
禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示します。
水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

本機、USIMカード、テレビアンテナケーブル、充電器（オプション品）、PC接続用microUSBケーブル（オプション品）、SDカード（オプション品）の取り扱いについて（共通）

⚠ 危険

本機に使用する充電器（オプション品）・PC接続用microUSBケーブル（オプション品）は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。
本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。

本機内部・充電器を濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が本体内部に入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れたまま充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）で充電・使用・放置しないでください。
また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。

機器の変形・故障や内蔵電池の漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。

本機に充電器をうまく取り付けできないときは、無理に行わないでください。
microUSBプラグの向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。

内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。また外部接続端子を破損・焼損させる原因となります。

本機と充電器を接続した状態で、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。

端子が破損した状態で充電すると故障や火災の原因となります。充電するときは、使用場所、取り扱いにご注意ください。

⚠ 警告

本機・充電器を、加熱調理機器（電子レンジなど）・高圧容器（圧力釜など）の中に入れたり、電磁調理器（IH調理器）の上に置いたりしないでください。

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本機・充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

ガスに引火する恐れがあります。ガソリンスタンド構内などでNFC（おサイフケータイ®を含む）対応携帯電話をご利用になる際は、電源を切った状態で使用してください（NFC（おサイフケータイ®を含む）をロックされている場合は、ロックを解除した上で電源をお切りください）。

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1. コンセントやシガーライターソケットから充電器を持ってプラグを抜いてください。
   また、高温になっている可能性があるため、やけどに注意して、本機を取り外してください。
2. やけどやけがに注意して、本機の電源を切ってください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。

外部接続端子やイヤホンマイク端子に、液体(水道水、清涼飲料水、海水、ペットの尿など)や導電性異物(鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど)が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。
IPXは防水性能を表す規格ですが、この規格に準拠していても、液体の付着によるショートを防止できるものではありません。
また海水・プールの水・熱湯などは防水性能の対象外となります。液体が付着した場合は、十分に取り除いてから充電してください。

本機または充電器が濡れている状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。

本機は防水機能を有しておりますが、濡れた状態でmicroUSBプラグを挿入すると、本機やmicroUSBプラグに付着した液体(水道水、清涼飲料水、海水、ペットの尿など)や異物などにより、感電や回路のショートなどによる異常発熱・焼損・火災・故障・やけどなどの原因となります。

乾燥などの目的で、ドライヤーなどの温風をあてないでください。また、サウナに持ち込んだり、熱湯をかけたりしないでください。

内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や、本機・充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

⚠ 注意

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。またバイブレータ設定中や充電中は、特にご注意ください。

落下して、けがや故障などの原因となります。また、充電中の落下は端子の破損の原因となります。

本機を充電器から取り外す際は、コードを引っ張らず、充電器のmicroUSBプラグを持って取り外してください。

コードを引っ張るとコードが傷ついたり、端子の破損による火災や感電などの原因となります。

使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります(使用材料:☞17ページ)。

充電中は、本機・充電器に長時間触れないでください。

低温やけどになる恐れがあります。

乳幼児の手の届かない場所やペットが触れない場所に保管してください。

誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。

けがなどの原因となります。

内蔵電池の取り扱いについて

⚠ 危険

電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

表示	電池の種類
Li-ion00	リチウムイオン電池

火の中に投下しないでください。
内蔵電池を漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

禁止

内蔵電池内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
失明などの原因となります。

指示

⚠ 警告

内蔵電池内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示

本機の使用中・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して火気から遠ざけてください。
異常な状態のまま使用すると、内蔵電池を漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。

指示

ペットが本機に噛みつかないようご注意ください。また、ペットが噛みついた本機は使用しないでください。
内蔵電池の漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

指示

⚠ 注意

不要になった本機を、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
電池を内蔵していますので、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。適切に処理いたします。

禁止

本機の取り扱いについて

⚠ 警告

本機のディスプレイ部やカメラ部にはガラスを使用しております。落下などによる衝撃や無理な力は加えないでください。

ディスプレイ部やカメラ部が破損し、ガラスが飛散する恐れがあります。
万一、破損した場合は、破片や破損部分に直接手を触れないようご注意ください。
けがの原因となります。

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

交通事故の原因となります。
乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。
運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ **ご注意いただきたい電子機器の例**
補聴器・植込み型心臓ペースメーカ・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など

航空機内では航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあります。

心臓の弱い方は、着信時のバイブレーション（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える恐れがあります。

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。

モバイルライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光しないでください。

視力障害の原因となります。また、目がくらんだり、驚いたりして、けがなどの事故の原因となります。

充電中は、本機を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。また布や布団でおおった状態で、就寝しないようにしてください。

熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。

⚠ 注意

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種により、まれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。

本機に磁気カードなどを近づけないでください。

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

本機を長時間ご使用になる場合、高温になる場所（火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など）、また、暖かい場所や熱のこもりやすい場所（こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など）では熱くなることがありますので、ご注意ください。

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。

充電しながら携帯電話やアプリケーション(ゲームなど)を長時間使用すると、本機や充電器の温度が高くなることがありますので、温度の高い部分に長時間触れないでください。
低温やけどなどの原因となります。

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。
難聴になる可能性があります。

フルセグ/ワンセグを視聴するときは、十分明るい場所で、画面からある程度の距離を空けてご使用ください。
視力低下につながる可能性があります。

イヤホンを使用するときは音量に気をつけてください。
長時間使用して難聴になったり、突然大きな音が出て耳を痛めたりする原因となります。

充電器(オプション品)の取り扱いについて

⚠ 警告

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。また布や布団でおおった状態で、就寝しないようにしてください。
熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。
指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。
- ACアダプタ(オプション品):
  AC100V～240V(家庭用ACコンセント専用)
- シガーライター充電器(オプション品):
  DC12V・24V(マイナスアース車専用)

また、海外旅行用として、市販されている「変圧器」は使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。

使用しない場合は、充電器を持って電源プラグをコンセントから抜いてください。
電源プラグを挿したまま放置し、充電器のプラグに異物や液体が付着したり、充電器のプラグを踏みつけたりすると、感電・火災・故障の原因となります。

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持って、コンセントやシガーライターソケットからプラグを抜いてください。
感電・発煙・火災の原因となります。

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などで拭き取ってください。
火災の原因となります。

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。
感電やショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。

濡れた手で充電器のプラグや端子を抜き差ししないでください。
感電や故障などの原因となります。

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。
感電などの原因となります。

充電器は、風呂場や洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。
火災・感電・故障の原因となります。

シガーライター充電器（オプション品）は、マイナスアース車専用です。プラスアース車には絶対に使用しないでください。
火災などの原因となります。

シガーライター充電器（オプション品）のヒューズが切れたときは、必ず指定のヒューズに交換してください。
指定以外のヒューズを使用すると、火災や故障の原因となります。指定のヒューズに関しては、シガーライター充電器の取扱説明書でご確認ください。

⚠ 注意

お手入れの際は、コンセントやシガーライターソケットから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。
感電などの原因となります。

充電器をコンセントやシガーライターソケットから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。

充電器をテーブルタップに接続しているときは、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。
火災や故障の原因となります。

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。
けがや故障の原因となります。

プラグに手や指など身体の一部が触れないようにしてください。
やけど・感電・傷害・故障の原因となります。

テレビアンテナケーブルの取り扱いについて

⚠ 警告

コードが傷んだら使用しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

テレビアンテナケーブルの上に重いものをのせないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

濡れた手でテレビアンテナケーブルに触れないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

テレビアンテナケーブルのプラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災、やけど、感電の原因となります。

テレビアンテナケーブルを本機から抜く場合は、コードを無理に引っ張らず、プラグを持って抜いてください。
火災、やけど、感電の原因となります。

注意

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。
火災、やけど、感電の原因となります。

テレビアンテナケーブルを持って本機を振り回さないでください。
本人や他の人に当たり、けがなどの事故の原因となります。

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」（電波環境協議会［平成26年8月］）および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」（総務省）の内容を参考にしたものです。

警告

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカ等の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。
電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどに確認してください。
電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、事前に通信機能が使用できない状態（例：機内モード）に切り替えるか、または携帯電話の電源をお切りください。電源が自動的に入るアプリケーションをインストールしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。
電波により、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- 医療機関内での携帯電話の使用においては、各医療機関からの指示に従ってください。
- 手術室、集中治療室（ICU）などでは、本機の電源を必ず切ってください。
- 病室・ロビーなど使用を許可されたエリアでも、近くに医用電気機器がある場合は、必要な離隔距離を確保してください。

お願いとご注意

ご利用にあたって

- USIMカードや、USIMカード装着済みの本機を盗難・紛失された場合は、必ずお問い合わせ先（☞78ページ）までご連絡のうえ、緊急利用停止の手続きを行ってください。
- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、通話が困難になることがあります。また、通話中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通話が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を公共の場所でご利用いただくときは、周囲の人たちの迷惑にならないようにご注意ください。
- 本機は電波法に定められた無線局です。したがって、電波法に基づく検査を受けていただくことがあります。あらかじめご了承ください。
- USB充電利用時は、家庭用ACコンセントで充電したときよりも充電時間が長くなります。接続環境やパソコンの状態によっては、充電できなかったり、充電に時間がかかったりすることがあります。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで本機を使用すると、雑音が入るなどの影響を与えることがありますので、ご注意ください。
- **傍受（ぼうじゅ）にご注意ください。**
  本機は、デジタル信号を利用した傍受されにくい商品ですが、電波を利用している関係上、通常の手段を超える方法をとられたときには第三者が故意に傍受するケースもまったくないとはいえません。この点をご理解いただいたうえで、ご使用ください。
  - ■ 傍受とは、無線連絡の内容を第三者が別の受信機で故意または偶然に受信することです。
- インターネットのサイトには、悪質なものや有害なものがあります。特に、個人情報の書き込みなどは慎重に行いましょう。
- 本機の画面には液晶を使用しています。
  そのため、偏光特性を持ったサングラスをかけて画面を見ると、サングラスの特性や見る角度によっては暗くなったり歪んで見える場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本機を他人に使わせたり譲渡する目的で海外へ持ち出す場合は、輸出許可が必要になることがありますが、旅行や出張時に本人が使用する目的で日本から持ち出し持ち帰る場合には許可は不要です。
  米国輸出規制により本機をキューバ、イラン、朝鮮民主主義人民共和国、スーダン、シリアへ持ち込むためには米国政府の輸出許可が必要です。
- 本機では、Google Inc.が提供する「Google Play™」上より、さまざまなアプリケーションのインストールが可能です。お客様ご自身でインストールされるこれらのアプリケーションの内容（品質、信頼性、合法性、目的適合性、情報の真実性、正確性など）およびそれに起因するすべての不具合（ウイルスなど）につきましては、当社は一切の保証を致しかねます。

■ 高温時のご注意

- 操作方法や使用環境によっては、本機の内部温度が高くなり、熱くなることがあります。その際には安全のため、充電が停止したり、画面の明るさが調整される場合があります。
  また、内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示されたあと、約3分後に電源が切れますのでご注意ください。この場合には、本機の内部温度を下げるため、すべてのアプリケーションを終了してから、画面を消灯してください。
- カメラ使用時は、内部温度の高い状態のまま使用し続けると、警告画面が表示され、撮影データが保存されて自動終了します。

■ カメラについて

- カメラ機能は、一般的なモラルを守ってご使用ください。
- 大切なシーンを撮影されるときは、必ず試し撮りを行い、画像を表示して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 撮影が禁止されている場所では撮影しないでください。
- カメラ機能を利用して撮影した画像は、個人として楽しむ場合などを除き、著作権者（撮影者）などの許可を得ることなく使用したり、転送することはできません。

■ マナーモードについて

- マナーモードを設定していても、カメラ撮影時のシャッター音、ビデオカメラ撮影時の撮影開始／終了音、音楽・動画・ゲームの音などは鳴ります。

■ フルセグ／ワンセグについて

- 本機は、電波を利用しているため、特に屋内や地下街、トンネル内などでは電波が届きにくくなり、フルセグ／ワンセグ視聴が困難になることがあります。また、フルセグ／ワンセグ視聴中に電波状態の悪い場所へ移動すると、映像が急に途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様のご利用環境によって電波の受信状態が異なるため、一部地域では視聴できない場合があります。受信状態の良い環境でご利用ください。

■ 本体メモリについてのご注意

- お買い上げ時、本機で撮影した静止画や動画などのメディアファイルは、本体メモリに保存されるように設定されています。
- お客様がダウンロードされたアプリケーション（市販品）によっては、保存先がSDカードと説明されている場合でも、データファイルが本体メモリに保存されますのでご注意ください。

■ 通話中／通信中のご注意

- 通話中や通信中は、同時に他の機能を使用している間や各種操作を行っている間も通話料、通信料がかかりますので、ご注意ください。
- JavaScript通信は、通信料が高額になる可能性があります。

■ 緊急速報メールについて

- お買い上げ時、受信設定は「有効」に設定されています。
- 受信時には、マナーモードであっても警告音が鳴動します。
- 通話中、通信中および電波状態が悪い場合は受信できません。
- お客様のご利用環境・状況によっては、お客様の現在地と異なるエリアに関する情報が受信される場合、または受信できない場合があります。
- 受信設定を「有効」にしている場合は、待受時間が短くなることがあります。
- 当社は情報の内容、受信タイミング、情報を受信または受信できなかったことに起因した事故を含め、本サービスに関連して発生した損害については、一切責任を負いません。

■ 技術基準適合証明について

本機は、電波法ならびに電気通信事業法に基づく技術基準に適合しています。次の操作で、技術基準適合証明に関する情報（〶等）を確認できます。

アプリシートで（設定）➡端末情報➡技術基準適合証明／FCC ID

■ SSL／TLSについて

本機には、あらかじめ認証機関から発行された電子的な証明書が登録されており、SSL／TLS（インターネット上でデータを暗号化して送受信する通信方法）を利用できます。

- セキュリティで保護されている情報画面を表示する場合は、お客様は自己の判断と責任においてSSL／TLSを利用するものとします。お客様ご自身によるSSL／TLSの利用に際し、ソフトバンクおよび認証会社である合同会社シマンテック・ウェブサイトセキュリティ、サイバートラスト株式会社は、お客様に対しSSL／TLSの安全性に関して何ら保証を行うものではありません。

お取り扱いについて

- 本機は温度：5℃〜35℃、湿度：35%〜90%の範囲でご使用ください。
- 極端な高温や低温環境、直射日光の当たる場所でのご使用、保管は避けてください。
- 使用中や充電中は本機や内蔵電池が温かくなることがありますが、異常ではありませんので、そのままご使用ください。
- お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布などで拭いてください。また、アルコール、シンナー、ベンジンなどを用いると色があせたり、文字が薄くなったりすることがありますので、ご使用にならないでください。
- 本機のディスプレイを堅い物でこすったり、傷つけないようご注意ください。
- 無理な力がかからないようにお取り扱いください。故障やけがの原因となります。
  - ズボンやスカートのポケットに入れたまま、しゃがみこんだり椅子などに座らないでください。特に厚い生地の衣服のときはご注意ください。
  - カバンなどに入れるときは、重たい物の下にならないように十分ご注意ください。
- 本体の背面カバーは取り外しできません。無理に取り外そうとすると、破損や故障の原因となります。
  また、防水性能を損なう原因にもなります。
- 端子に指定品以外のものは、取り付けないでください。誤動作したり、破損することがあります。
- SDカードの使用中は本機の電源を切らないでください。データの消失・故障の原因となります。
- 歩行中は、周囲の音が聞こえなくなるほど、音量を上げないでください。事故の原因となります。
- 本機を手に持って使用するときは、受話口や送話口、スピーカー、マイクをふさがないようにご注意ください。
- 近接センサーは、通話中にタッチパネルの誤動作を防ぐためのものです。センサー部分を指でふさいだり、シールなどを貼らないでください。通話中にディスプレイの表示が常に消えた状態になり、操作できなくなることがあります。
- 髪の毛の上から受話口を当てて通話すると、近接センサーが正常に動作しないことがあります。
  画面が点灯したままとなり、誤って画面に触れることによって、通話が切れる場合があります。
- 明るさセンサー部分を指でふさいだり、シールなどを貼らないでください。周囲の明るさにセンサーが反応できなくなり、正しく動作しない場合があります。
- 本機は、受話口がディスプレイの上端中央部にあります。通話中相手の方の声が聞こえにくいときは、受話口をご確認のうえ、耳の中央の位置に合わせると、より聞き取りやすくなります。

■ 内蔵電池について

- 内蔵電池の劣化状態を確認するときは、次の操作を行ってください。
  アプリシートで⚙（設定）➡端末情報➡端末の状態➡電池の状態
- 次の操作で、電池の消費を軽減できます。
  アプリシートで⚙（設定）➡省エネ➡エコ技設定➡エコ技
  - エコ技が有効のときは、エコ技マークが緑色で表示されます。
- 内蔵電池の性能や寿命を低下させる原因となりますので、次の状態では保管しないでください。
  - （充電完了後すぐの）フル充電状態
  - （本機の電源が入らないほど）電池残量がない状態
- 目安として、電池残量が40%程度での保管をおすすめします。
- 内蔵電池の使用条件によって、寿命が近づくにつれて内蔵電池が膨れることがありますが、安全上問題はありません。
- 内蔵電池は消耗品です。十分に充電しても使用できる時間が極端に短くなったら、交換時期です。内蔵電池を交換してください。なお、内蔵電池は、お客様自身では交換できません。内蔵電池の交換については、「ソフトバンクショップ」などで、本機をお預かりして有料にて承ります。「お問い合わせ先」（☞78ページ）または「ソフトバンクショップ」へご相談ください。

■ リチウムイオン電池について

- 本機は、リチウムイオン電池を使用しています。リチウムイオン電池はリサイクル可能な貴重な資源です。リサイクルは、お近くのモバイル・リサイクル・ネットワークのマークのあるお店で行っています。

- 充電／着信ランプが点滅しているときは充電ができていません。指定品の充電器を使用して充電してください。それでも充電ができない場合は、「お問い合わせ先」(☞78ページ)または「ソフトバンクショップ」へご相談ください。
- 海外での充電に起因するトラブルについては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

■ ディスプレイ(タッチパネル)について

本機はディスプレイ部がタッチパネルとなっています。
タッチパネルに水滴がついているときは、水滴を柔らかい布などで拭いてからご使用ください。

- 次のような操作を行うと、動作しないことがあります。
  - ■ 手袋をした指や爪の先での操作
  - ■ ペン、ボールペン、鉛筆など先のとがったものでの操作
  - ■ 異物をタッチパネルに載せたままでの操作
  - ■ 水分が付着した状態での操作
- 誤動作の原因となりますので、次の点にご注意ください。
  - ■ 濡れた指で操作しない
  - ■ タッチパネルに水滴がついている状態で操作しない
  - ■ 強く押し過ぎない
  - ■ ディスプレイにシールやシート類(市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど)を貼らない
- タッチパネルで思うように操作できないときは、次の操作を行ってください。
  アプリシートで⚙(設定)➡端末情報➡タッチパネル補正➡画面に従って操作
- 次のようなときは、⏻ を押して画面を消灯させたあと、再度 ⏻ を押して画面を点灯させてから操作してください。
  - ■ タッチパネルに触れていないのに、本機が勝手に動作するとき
  - ■ タッチパネルに触れても、本機が反応しないとき

■ テレビアンテナケーブルについて

フルセグ／ワンセグを視聴／録画する場合は、テレビアンテナケーブルを本機のイヤホンマイク端子に接続してください。

- テレビアンテナケーブルを使用中にイヤホンマイクをご使用になる場合は、市販品のイヤホンマイクをテレビアンテナケーブルのイヤホンマイク端子に接続してご利用ください。

- プラグは奥まで確実に差し込んでください。途中で止まっていると、放送電波が受信できなかったり、音が聞こえないことがあります。
- 端子が汚れていると接触が悪くなりますので、端子を乾いた綿棒などで拭いてください。また、清掃する際には端子の破損に十分ご注意ください。
- テレビアンテナケーブルのプラグやイヤホンマイク端子を変形させないでください。故障の原因となります。
- イヤホンなどのコードを本機のアンテナ部分に近づけると、ノイズが入ることがあります。

■ イヤホンマイクについて

市販品のイヤホンマイクを使用すると、正常に動作しない場合があります。指定品のマイク付ステレオイヤホン[SHLDL1](オプション品)をお使いください。

- イヤホンマイク使用時、イヤホンマイク端子に強い負荷をあたえると防水性能が損なわれることがありますのでご注意ください。

■ セルフチェックについて

動作が不安定になったときは、次の操作で原因の自己診断をすることができます。

アプリシートで（設定）➡便利機能➡セルフチェック➡画面に従って操作

■ 強制的に電源を切る方法について

本機が動作を停止したり入力を受け付けなくなったりしたときは、強制的に電源を切ることができます。

⏻（8秒以上長押し）

■ バイブレータが動作したあとに指を離すと、電源が切れます。

■ オールリセットについて

オールリセットすると、本体メモリのデータがすべて消去されます。必要なデータは事前にバックアップをとることをおすすめします。

消去された内容は、元に戻せませんので、十分にご確認のうえ操作してください。

アプリシートで（設定）➡その他の設定➡バックアップとリセット➡オールリセット➡操作用暗証番号入力➡OK➡携帯端末をリセット➡すべて消去

■ microSD内データも消去するにチェックを入れてオールリセットを実行すると、SDカードに保存されたデータもすべて消去されます。

■ データ引継について

SDカードやBluetooth®機能を利用してほかの携帯電話からデータをインポートしたり、本機のデータをSDカードにバックアップしたりできます。

● 本機にデータをインポートする場合は、あらかじめバックアップデータを保存したSDカードを取り付けておいてください。

アプリシートで（設定）➡データ引継➡画面に従って操作

Bluetooth®機能について

Bluetooth®機能の利用時に、データや情報の漏洩により発生した損害につきましては、責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 使用上の注意事項

本機のBluetooth®機能の周波数帯では、電子レンジなどの産業･科学･医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など（以下、「他の無線局」と略す）が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1 Bluetooth®機能を使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。

2 万一、Bluetooth®機能の使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Bluetooth®機能の使用を停止（電波の発射を停止）してください。

3 その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

連絡先：ソフトバンクカスタマーサポート
ソフトバンク携帯電話から　157（無料）

（一般電話からおかけの場合、78ページの「お問い合わせ先」を参照してください）

● **周波数帯について**

この無線機器は、2.4GHz帯を使用します。

FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。

XX4はその他方式を採用し、与干渉距離は約40m以下です。

移動体識別装置の帯域を回避することはできません。

2.4FH1/XX4

Wi-Fi(無線LAN)について

無線LAN(以降「Wi-Fi」と記載)は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、第三者に情報を盗み見られてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

- 電気製品・AV・OA機器などの近くでは利用しないでください。通信速度の低下や通信不可、雑音などの可能性があります(特に電子レンジ使用時は、影響を受けることがあります)。
- 複数のアクセスポイントが存在するときは、正しく検索できないことがあります。

■ 使用上の注意事項

本機のWi-Fiの周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器や、工場の製造ライン等で使用されている構内無線局、アマチュア無線局など(以下、「他の無線局」と略す)が運用されています。他の無線機器との電波干渉を防止するため、下記の事項に注意してご使用ください。

1. Wi-Fiを使用する前に、近くで同じ周波数帯を使用する「他の無線局」が運用されていないことを目視で確認してください。
2. 万一、Wi-Fiの使用にあたり、本機と「他の無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、Wi-Fiの使用を停止(電波の発射を停止)してください。
3. その他不明な点やお困りのことが起きたときには、次の連絡先へお問い合わせください。

   連絡先: ソフトバンクカスタマーサポート
   ソフトバンク携帯電話から　157(無料)

   (一般電話からおかけの場合、78ページの「お問い合わせ先」を参照してください)

- **周波数帯について**

  この無線機器は、2.4GHz帯と5GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS/OFDM変調方式を採用し、与干渉距離は40m以下です。

2.4DS/OF4

- **5GHz帯の使用チャンネルについて**

  5GHzの周波数帯においては、5.2GHz／5.3GHz／5.6GHz帯(W52／W53／W56)の3種類の帯域を使用することができます。

  - W52(5.2GHz帯／36、38、40、44、46、48ch)
  - W53(5.3GHz帯／52、54、56、60、62、64ch)
  - W56(5.6GHz帯／100、102、104、108、110、112、116、118、120、124、126、128、132、134、136、140ch)

  5.2GHz／5.3GHz帯(W52／W53)を使って屋外で通信を行うことは、電波法で禁止されています。

■ Bluetooth®との同時利用について

Wi-Fi(IEEE802.11b/g/n)は、Bluetooth®と同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、近くでBluetooth®機器を利用したり、本機のBluetooth®が有効になっていると、通信速度の低下や雑音、接続不能の原因になることがあります。接続に支障があるときは、Bluetooth®機器の利用を中止したり、本機のBluetooth®を無効にしてください。

- 本機のWi-Fiで設定できるチャンネルは1-13です。これ以外のチャンネルのアクセスポイントには接続できませんのでご注意ください。
- 利用可能なチャンネルは、国により異なります。
- 航空機内の使用は事前に各航空会社へご確認ください。
- 一部の国／地域では、Wi-Fiの使用が制限されます。海外で利用するときは、その国／地域の法規制など条件をご確認ください。

防水性能について

本機の防水性能

本機は、カード挿入口キャップをしっかりと閉じた状態で、IPX5(旧JIS保護等級5)※1、IPX7(旧JIS保護等級7)※2相当の防水性能を有しています。(防塵性能は有しておりません。)

※1 IPX5とは、内径6.3mmの注水ノズルを使用し、約3mの距離から約12.5リットル／分の水を最低3分間注水する条件であらゆる方向から噴流を当てても、電話機としての機能を有することを意味します。

※2 IPX7とは、常温で水道水、かつ静水の水深1mのところに電話機を静かに沈め、約30分間放置後に取り出したときに電話機としての機能を有することを意味します。

- **実際の使用にあたって、すべての状況での動作を保証するものではありません。お客様の取り扱いの不備による故障と認められたときは、保証の対象外となりますのでご了承ください。**
- **本機は、IPX5／IPX7の防水性能を有していますが、清涼飲料水、海水などが入った場合には、故障の原因となることがあります。**

本機のお取り扱いについて

- カード挿入口キャップはしっかりと閉じてください。パッキンとの接触面に細かいゴミ(髪の毛1本、砂粒1個、微細な繊維など)がはさまると、水が入る原因となります。
- カード挿入口キャップが開いている状態で水などの液体がかかった場合、内部に液体が入り、感電や故障の原因となります。そのまま使用せずに電源を切ってください。
- 本機が濡れているときは、乾いたきれいな布で拭き取ってください。
- 手や本機が濡れているときに、カード挿入口キャップの開閉は絶対にしないでください。
- イヤホンマイク端子、外部接続端子は、濡れていたり、砂やほこりが付着した状態でご使用にならないでください。防水性能が損なわれたり、感電や回路のショートなどによる、故障・やけど・火災の原因となります。
- 常温(5℃～35℃)の真水・水道水にのみ対応しています。

使用時のご注意

- 本機に次のような液体をかけたり、つけたりしないでください。
  - ■ 石けん、洗剤、入浴剤を含んだ水
  - ■ 海水、プールの水
  - ■ 温泉、熱湯など
- 海水やプールの水、清涼飲料水などがかかったり、ホコリ、砂、泥などが付着した場合には、すぐに常温(5℃～35℃)の真水・水道水で洗い流してください。乾燥して固まると、汚れが落ちにくくなり、故障の原因となります。
- 湯船やプールなどにつけないでください。また、水中で使用しないでください(キー操作を含む)。
- 本機は耐水圧設計ではありません。水道やシャワーなどで強い流水(6リットル／分を超える)を当てたり、水中に沈めたりしないでください。
- 風呂場など湿気の多い場所には、長時間放置しないでください。また、風呂場で長時間利用しないでください。
- 送話口、受話口、スピーカーの穴に水が入ったときは、一時的に音量が小さくなることがあります。十分に水抜きと乾燥(☞51ページ)を行ったうえでご使用ください。
- 充電器などのオプション品は、防水対応していません。屋外や風呂場、洗面所など湿気の強い場所や水のかかる可能性のある場所では使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。
- 落下させるなど、本体に強い衝撃を与えたり、送話口、受話口、スピーカー、マイク、空気抜き穴などをとがったものでつつかないでください。
- 砂浜、砂場などの砂の上に直接置かないでください。受話口、スピーカーなどに砂が入り、音が小さくなる恐れがあります。
- 結露防止のため、寒い場所から風呂場などへは本機が常温になってから持ち込んでください。万一、結露が発生したときは、取れるまで常温で放置してください。
- 本機は水に浮きません。
- 強い雨の中では使用しないでください。

充電時のご注意

- **本機または充電器が濡れている状態では、microUSBプラグを絶対に接続しないでください。**
  本機は防水機能を有しておりますが、濡れた状態でmicroUSBプラグを挿入すると、本機やmicroUSBプラグに付着した液体（水道水、清涼飲料水、海水、ペットの尿など）や異物などにより、感電や回路のショートなどによる異常発熱・焼損・火災・故障・やけどなどの原因となります。
- 充電器は、水周りで使用しないでください。火災・感電の原因となります。

防水性能を維持するために

- カード挿入口キャップのゴムパッキンは、防水性能を維持するための重要な役割を担っています。次のことにご注意ください。
  - ■ はがしたり、傷つけたりしないでください。
    また、ゴミが付着しないようにしてください。
  - ■ カード挿入口キャップが傷ついたり、変形したりしたときは、「ソフトバンクショップ」にご相談ください。
- カード挿入口キャップのすき間、イヤホンマイク端子、外部接続端子に、先のとがったものを差し込まないでください。
- 防水性能を維持するため、異常の有無にかかわらず、2年に1回、カード挿入口キャップを交換することをおすすめします。お客様ご依頼によるカード挿入口キャップの交換は、本機をお預かりして有料にて承ります。「お問い合わせ先」（☞78ページ）または「ソフトバンクショップ」へご相談ください。

本機の洗いかた

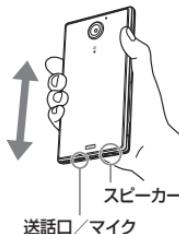
本機に汚れ、ホコリ、砂、清涼飲料水などが付着したときは、汚れを軽く布で除去し、やや弱めの水流［6リットル／分以下、常温（5℃～35℃）の水道水］で蛇口やシャワーから約10cm離して洗います。カード挿入口キャップが開かないように押さえたまま、ブラシやスポンジなどは使用せず手で洗ってください。洗ったあとは、水抜きをしてから使用してください。よく乾燥したあと、電源を入れてください。

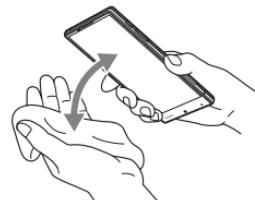
- カード挿入口キャップが、きちんと閉まっていることを確認してから洗ってください。
- 洗濯機や超音波洗浄機などで洗わないでください。
- イヤホンマイク端子、外部接続端子は、特にホコリや砂などの汚れが付着しやすい部位です。汚れを残さないようしっかりと洗い流してください。また、水洗い後は十分に乾燥したことを確認したうえでご使用ください。砂や水滴が端子部に残ったままの状態でご使用になりますと、故障・やけど・火災の原因となります。
- イヤホンマイク端子、外部接続端子を洗うときは、綿棒などの道具を使用したり、布を端子内部に押し込んだりしないでください。防水性能が損なわれるなど、故障の原因となります。

水抜きのしかた

水に濡れたあとは、必ず「受話口」、「送話口」、「マイク」、「スピーカー」、「空気抜き穴」、「イヤホンマイク端子」、「外部接続端子」の水抜きを行ってください。

❶ 本機表面の水分を乾いた布などで拭く

❷ 本機をしっかりと持ち、20回程度振る

- 本機を振るときは、落とさないようにしっかりと握ってください。

❸ 各部の穴やすき間に入った水分を、乾いた布などに押し当てて拭き取る

- 各部の穴に水がたまっていることがありますので、開口部に布などを当て軽くたたいて水を出してください。

❹ 乾いた布などを下に敷き、2〜3時間程度常温で放置する

水を拭き取る際のご注意

- 各部の穴の水を抜く際は、布や綿棒などを内部に押し込んだりしないでください。防水性能が損なわれることがあります。

水抜き後のご注意

- 水滴が付着したままで使用しないでください。
  - ■ 通話不良となったり、衣服やカバンなどを濡らしてしまうことがあります。
  - ■ イヤホンマイク端子、外部接続端子などがショートする恐れがあります。
  - ■ 寒冷地では凍結し、故障の原因となることがあります。

知的財産権について

肖像権について

- 他人から無断で写真を撮られたり、撮られた写真を無断で公表されたり、利用されたりすることがないように主張できる権利が肖像権です。肖像権には、誰にでも認められている人格権と、タレントなど経済的利益に着目した財産権(パブリシティ権)があります。したがって、勝手に他人やタレントの写真を撮って公開したり、配布したりすることは違法行為となりますので、適切なカメラ機能のご使用を心がけてください。

著作権について

- 音楽、映像、コンピュータ・プログラム、データベースなどは著作権法により、その著作物および著作権者の権利が保護されています。こうした著作物を複製することは、個人的にまたは家庭内で使用する目的でのみ行うことができます。この目的を超えて、権利者の了解なくこれを複製(データ形式の変換を含む)、改変、複製物の譲渡、ネットワーク上での配信などを行うと、「著作権侵害」「著作者人格権侵害」として損害賠償の請求や刑事処罰を受けることがあります。本製品を使用して複製などをなされる場合には、著作権法を遵守のうえ、適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。また、本製品にはカメラ機能が搭載されていますが、本カメラ機能を使用して記録したものにつきましても、上記と同様の適切なご使用を心がけていただきますよう、お願いいたします。

本機に搭載のソフトウェアは著作物であり、著作権、著作者人格権などをはじめとする著作者等の権利が含まれており、これらの権利は著作権法により保護されています。ソフトウェアの全部または一部を複製、修正あるいは改変したり、ハードウェアから分離したり、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリング等は行わないでください。第三者にこのような行為をさせることも同様です。

オープンソースソフトウェアについて

- 本機には、GNU General Public License(GPL)、GNU Lesser General Public License(LGPL)、その他のライセンスに基づくソフトウェアが含まれています。
  次の操作で、当該ソフトウェアのライセンスに関する詳細を確認できます。
  アプリシートで(設定)➡端末情報➡法的情報➡オープンソースライセンス
- GPL、LGPL、Mozilla Public License(MPL)に基づくソフトウェアのソースコードは、下記サイトで無償で開示しています。
  詳細は下記サイトをご参照ください。
  https://sh-dev.sharp.co.jp/android/modules/oss/
- 本製品は、京都大学 黒橋・河原研究室で開発された日本語構文・格・照応解析システムであるKNPを利用したソフトウェアが含まれています。

商標／登録商標について

動画の撮影／再生の技術には「MPEG-4」が使われています。
This product is licensed under the MPEG-4 Visual Patent Portfolio License for the personal and non-commercial use of a consumer to (i) encode video in compliance with the MPEG-4 Video Standard ("MPEG-4 Video") and/or (ii) decode MPEG-4 Video that was encoded by a consumer engaged in a personal and noncommercial activity and/or was obtained from a licensed video provider. No license is granted or implied for any other use.
Additional information may be obtained from MPEG LA.
See http://www.mpegla.com.
This product is licensed under the MPEG-4 Systems Patent Portfolio License for encoding in compliance with the MPEG-4 Systems Standard, except that an additional license and payment of royalties are necessary for encoding in connection with (i) data stored or replicated in physical media which is paid for on a title by title basis and/or (ii) data which is paid for on a title by title basis and is transmitted to an end user for permanent storage and/or use. Such additional license may be obtained from MPEG LA, LLC. See http://www.mpegla.com for additional details.
本製品は、AVCポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ⅰ)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ⅱ)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および／またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(ⅰ)VC-1規格準拠のビデオ(以下「VC-1ビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および／または(ⅱ)VC-1ビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, L.L.C.から入手できる可能性があります。
http://www.mpegla.com をご参照ください。

Microsoft®、Excel®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Microsoft® Excel®、Microsoft® Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。

Bluetooth® is a trademark of the Bluetooth SIG, Inc.

The Bluetooth word mark and logos are owned by the Bluetooth SIG, Inc. and any use of such marks by Sharp is under license. Other trademarks and trade names are those of their respective owners.
Bluetooth®は、米国Bluetooth SIG,Inc.の登録商標です。

OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

microSD、microSDHC、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。

aptXはCSR plc.の登録商標です。

この製品では、シャープ株式会社が液晶画面で見やすく、読みやすくなるよう設計したLCフォントが搭載されています。LCフォント／LCFONTおよび LC® は、シャープ株式会社の登録商標です。

本製品は、無線LAN標準規格のIEEE802.11に基づき、無線LAN機器の相互接続性を保証するためにWi-Fi Alliance®が定めている認証テストをパスしており、「Wi-Fi CERTIFIED™」という認定が与えられています。
IEEE802.11a/b/g/n(2.4GHz／5GHz)/acに対応しております。
※1 IEEE802.11n：MIMOに対応しています。
※2 IEEE802.11ac：・対応商品については、各社のホームページをご覧ください。
・MU-MIMO(Clientモード)に対応しています。

Wi-Fi Protected Setup™(WPS)で、無線LANの接続設定内容(SSIDや認証方式、暗号キーなど)をプッシュボタン方式、PINコード入力方式で設定できる機能を有しています。

Wi-Fi®、Wi-Fi Alliance®、Wi-Fi Protected Access®(WPA)、Wi-Fi CERTIFIEDロゴ、Wi-Fi Protected Setupロゴ、Wi-Fi Direct®、Miracast®はWi-Fi Allianceの登録商標です。
Wi-Fi CERTIFIED™、Wi-Fi Protected Setup™、WPA2™はWi-Fi Allianceの商標です。

Google 、Google ロゴ、Android™ 、Android ロゴ、Google Play ストア、Google Play ストア ロゴ、Google+™ 、Google+ ロゴ、Gmail™ 、Gmail ロゴ、Google カレンダー™、Google カレンダー ロゴ、Google マップ™ 、Google マップ ロゴ、Google Chrome™ 、Google Chrome ロゴ、Google™ 検索 、Google 検索 ロゴ、Google 音声検索™ 、Google 音声検索 ロゴ、Google Now™ 、Google 設定™ 、Google 設定 ロゴ、Picasa™ 、YouTube™ 、YouTube ロゴ、Google ドライブ™ およびGoogle ドライブ ロゴ、Photo Sphere™は、Google Inc. の商標です。

DLNA®、DLNAロゴおよびDLNA CERTIFIED™ は、Digital Living Network Alliance の商標です。
DLNA®, the DLNA Logo and DLNA CERTIFIED™ are trademarks, service marks, or certification marks of the Digital Living Network Alliance.
本機のDLNAの認定はシャープ株式会社が取得しました。

DigiOn及びDiXiMは株式会社デジオンの商標です。

This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit. (http://www.openssl.org/)
この製品には OpenSSL Toolkit における使用のために OpenSSL プロジェクトによって開発されたソフトウェアが含まれています。

This product includes cryptographic software written by Eric Young(eay@cryptsoft.com)
この製品には Eric Young によって作成された暗号化ソフトウェアが含まれています。

Portions Copyright © 2004 Intel Corporation
この製品には Intel Corporation のソフトウェアを一部利用しております。

文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn © OMRON SOFTWARE Co., Ltd.2008-2015 All Rights Reserved.
iWnn IME © OMRON SOFTWARE Co., Ltd.
2009-2015 All Rights Reserved.

本製品には株式会社モリサワの書体、新ゴ Mを搭載しています。*新ゴは株式会社モリサワの登録商標です。

For DTS patents, see http://patents.dts.com
Manufactured under license from DTS Licensing Limited. DTS, the Symbol, & DTS and the Symbol together are registered trademarks, and DTS Sound is a trademark of DTS, Inc. © DTS, Inc. All Rights Reserved.

「AQUOS/アクオス」、「AQUOS」ロゴ、「ダブルエックス/Xx」、「EDGESTエフェクト」、「エモパー/emopa」、「emopa」マーク、「ワンタッチシャッター」、「フレーミングアドバイザー/FramingAdviser」、「インカメラワイド」、「NightCatch/ナイトキャッチ」、「スーパースロー」、「グリップマジック/Grip Magic」、「Sweep ON」、「クイックサイレント」、「スワイプペア／Swipe Pair」、「スロートーク/Slow Talk」、「Bright Keep」、「Feel Home」、「ウェルカムシート/Welcome Sheet」、「翻訳ファインダー」、「翻訳キャプチャー」、「検索ファインダー」、「検索キャプチャー」、「体験しよう！」、「「書」メモ」、「エスショイン／S-Shoin」、「AV家電リンク」、「スマートファミリンク/Smart Familink」、「PrintSmash」、「GALAPAGOS STORE」、「エコ技」マークは、シャープ株式会社の商標または登録商標です。

- 「ジーニアス和英辞典MX第2版」©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012
- 「ジーニアス英和辞典MX増補版」©MINAMIDE Kosei, NAKAMURA Mitsuo and Taishukan, 2012
- 「明鏡国語辞典MX第二版」©KITAHARA Yasuo and Taishukan, 2012

UULA®は株式会社UULAの登録商標です。

Facebook®およびFacebookロゴは、Facebook, Inc. の商標または登録商標です。

McAfee およびその他のマークは、米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標または商標です。セキュリティを連想させる赤はMcAfeeブランド製品独自の色です。

AOSS™は株式会社バッファローの商標です。

Internet SagiWallは、BBソフトサービス株式会社の商標または登録商標です。

「モバイルSuica」は、東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。

「あんしんバックアップ」は、株式会社ACCESSの技術提供を受けております。
©2011 ACCESS CO., LTD. All rights reserved.
Copyright © 2009 The Android Open Source Project
Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.
ACCESS、ACCESSロゴは、日本国、米国、およびその他の国における株式会社ACCESSの登録商標または商標です。

ACCESS™

「Yahoo!」および「Yahoo!」、「Y!」のロゴマークは、米国Yahoo! Inc.の登録商標または商標です。

FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
FeliCa is a contactless IC card technology developed by Sony Corporation.
FeliCa is a trademark of Sony Corporation.

「おサイフケータイ」は、株式会社NTTドコモの登録商標です。

Copyright © 2015 Yahoo Japan Corporation. All Rights Reserved.

ロヴィ、Rovi、Gガイド、G-GUIDE、Gガイドモバイル、G-GUIDE MOBILE、およびGガイド関連ロゴは、米国Rovi Corporationおよび／またはその関連会社の日本国内における商標または登録商標です。

本製品の音声合成ソフトウェアにはHOYAサービス株式会社のVoiceTextを使用しています。VoiceTextは、Voiceware社の登録商標です。
VoiceText of HOYA Service Corporation is used for speech synthesis. VoiceText is a registered trademark of Voiceware co.,ltd.

エモパー2.0で使用している音声認識技術は、フェアリーデバイセズ株式会社のmimi®を使用しています。mimi®はフェアリーデバイセズ株式会社の登録商標です。

Qualcomm is a trademark of Qualcomm Incorporated, registered in the United States and other countries.
Quick Charge is a trademark of Qualcomm Incorporated.
All Qualcomm Incorporated trademarks are used with permission.

S!メール、かざして翻訳はソフトバンクモバイル株式会社の登録商標または商標です。

SOFTBANKおよびソフトバンクの名称、ロゴは日本国およびその他の国におけるソフトバンク株式会社の登録商標または商標です。

©Disney
端末本体に内蔵されるコンテンツには、ウォルト･ディズニー･ジャパン株式会社やその親会社、ならびにこれらの関連会社（総称して「ディズニー」）の著作権やその他の知的財産権が含まれます。利用条件は、ディズニー公式スマートフォンメンバー会員規約をご覧ください。
DISNEY STYLE、DISNEY MARKETはディズニーの登録商標です。

その他の記載している会社名、製品名は各社の登録商標または商標です。

本製品の比吸収率（SAR）について

本項目における【404SH】とは、本機【AQUOS Xx】を示しています。

この機種【404SH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

電波の人体吸収に関する国の技術基準※1は、人体の近くで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、2W/kgの許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分に安全な値として設定されており、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインにおける値と同じ値です。
本携帯電話機【404SH】の側頭部におけるSARの最大値は0.528W/kgであり、また下記の方法※3により身体に装着した場合のSARの最大値は0.343W/kg※2です。これらは、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常SARはより小さい値となります。

側頭部以外の位置におけるご使用方法※3

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.5センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波の人体吸収に関する国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）に規定されています。
※2 この値は同時送信の値です。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

また、SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm

一般社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index02.html

電波ばく露の影響に関する情報として、欧州における基準および米国連邦通信委員会(FCC)の基準を掲載しています。詳細は「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」、「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

本携帯電話機【404SH】は、国際的ガイドラインが定める電波の許容値を超えないことが確認されています。このガイドラインは、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会(ICNIRP)が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.495W/kg、本書に記述する所定の方法(☞62ページ ※3)で使用した場合のSARの最大値は0.345W/kgです。

「米国連邦通信委員会(FCC)の電波ばく露の影響に関する情報」

米国連邦通信委員会の指針は、独立した科学機関が定期的かつ周到に科学的研究を行った結果策定された基準に基づいています。この許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。

携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率(SAR: Specific Absorption Rate)という単位を用いて測定します。FCCで定められているSARの許容値は、1.6W/kgとなっています。

測定試験は機種ごとにFCCが定めた位置で実施され、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.28W/kg、下記のとおりに従って身体に装着した場合のSARの最大値は0.37W/kgです。

身体装着の場合:この携帯電話機【404SH】では、一般的な携帯電話の装着法として身体から1.0センチに距離を保ち携帯電話機の背面を身体に向ける位置で測定試験を実施しています。FCCの電波ばく露要件を満たすためには、身体から1.0センチの距離に携帯電話を固定できる装身具を使用し、ベルトクリップやホルスターなどには金属部品の含まれていないものを選んでください。

上記の条件に該当しない装身具は、FCCの定めるSAR許容値を満たさない場合もあるので使用を避けてください。

比吸収率(SAR)に関するさらに詳しい情報をお知りになりたい場合は下記のホームページを参照してください。

FCC Radio Frequency Safety (英文のみ)
http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関(英文のみ)
http://www.who.int/emf

SoftBank スマートフォン 各機種の電波比吸収率(SAR) 一覧はこちら
http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/

Radio Wave Exposure and Specific Absorption Rate (SAR) Information

【404SH】here refers to this mobile phone【AQUOS Xx】.

Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)

This mobile phone【404SH】meets the Japanese technical regulations* and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies.
The regulation employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue.
The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO).
The highest SAR value for this mobile phone is 0.528 W/kg when tested for use at the ear, and 0.343 W/kg*** when worn on the body in the below manner****.
While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the Japanese technical regulations.
Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

Use at positions other than at the ear****

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 1.5 cm separation with no metal (parts) between the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection.

* The technical regulation is provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.
** International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection
*** The value is under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that “A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use.”

For more information about SAR, see the following websites:
Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm
Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
http://www.arib-emf.org/index02.html (Japanese)

This mobile phone【404SH】is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Council of Europe (CE) and the Federal Communications Commission (FCC). Refer to the following.

■European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.495 W/kg*.
As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide (See Page 66 ****). In this case, the highest tested SAR value is 0.345 W/kg*.

* The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

■FCC RF Exposure Information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organization through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR.
The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg. The tests are performed in positions and locations (e.g. at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model.
The highest SAR value for this model handset as reported to the FCC when tested for use at the ear is 0.28 W/kg, and when worn on the body in a holder or carry case, is 0.37 W/kg.
Body-worn Operation; This device was tested for typical body-worn operations with the handset kept 1.0 cm from the body. To maintain compliance with FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.0 cm separation distance between the user's body and the handset. The use of beltclips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.

The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided. The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/ after searching on FCC ID APYHRO00220.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the FCC website at http://transition.fcc.gov/oet/rfsafety/ .

FCC ID Location
The device is electronically labeled and the FCC ID can be displayed via the About phone & Technical Regulations Conformity Certification under the Setting menu.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

World Health Organization
http://www.who.int/emf

List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by smartphone/3G model
http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/ (Japanese)

General Notes

"404SH" here refers to this mobile phone "AQUOS Xx."

Handset

Do not disassemble or modify handset.

CE Declaration of Conformity

CE 0168 ⓘ

In some countries/regions including Europe, there are restrictions on the use of 5 GHz WLAN that may limit the use to indoors only.
If you intend to use 5 GHz WLAN on the device, check the local laws and regulations beforehand.

Hereby, Sharp Telecommunications of Europe Ltd, declares that 404SH is in compliance with the essential requirements and other relevant provisions of Directive 1999/5/EC.
A copy of the original declaration of conformity for each model can be found at the following Internet address:
http://www.sharp.co.jp/k-tai/

Battery Cautions

Use specified Charger only.
Non-specified equipment use may cause Internal Battery to leak, overheat, burst or ignite, and may cause Charger to overheat, ignite, malfunction, etc.

Battery is built into handset. Do not dispose of handset with ordinary refuse; take it to a SoftBank Shop for appropriate disposal.

Charge handset in ambient temperature 5ºC - 35ºC; Internal Battery may leak/overheat and performance may deteriorate outside this range.

Mobile Light

Do not shine Mobile Light in eyes.
May temporarily affect eyesight or startle, leading to accidents.

Volume Level Caution

To prevent possible hearing damage, do not listen at high volume levels for long periods.

Headphone Signal Level
The maximum output voltage for Music Player function, measured in accordance with EN 50332-2, is 120 mV.

Stand-by Mark

⏻ :This symbol means the stand-by on/off.

5 GHz WLAN Operation in USA

Within the 5.15-5.25 GHz band, U-NII devices are restricted to indoor operations to reduce any potential for harmful interference to co-channel Mobile Satellite Services (MSS) operations.

FCC Notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

FCC Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules.
These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.
This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.

However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.
3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

SoftBank Customer Support

General Information

From a SoftBank handset, dial toll free at 157.

ソフトウェア更新について

ネットワークを利用して本機のソフトウェア更新が必要かどうかを確認し、必要なときには手動で更新できます。

● お買い上げ時は「自動更新する」に設定されています。

ソフトウェア更新を行う前に

● 本機の状況(故障･破損･水濡れなど)によっては、保存されているデータが破棄されることがあります。
必要なデータは、ソフトウェア更新前にバックアップしておくことをおすすめします。なお、データが消失した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

ソフトウェア更新についてのご注意

● 更新が完了するまで、本機は使用できません。
● 電波状態の良い所で、移動せずに操作してください。また、電池残量が十分ある状態で操作してください。更新途中に電波状態が悪くなったり、電池残量がなくなると、更新に失敗することがあります(更新に失敗すると本機が使用できなくなることがあります)。
● 他の機能を操作しているときは、ソフトウェア更新は行えません。
● 本機にPC接続用microUSBケーブル(オプション品)を接続しているときは、取り外してください。そのままでソフトウェア更新を実行すると、正しく完了できないことがあります。

手動でソフトウェア更新する

1 アプリシートで⚙(設定)

2 端末情報

3 ソフトウェア更新

4 ソフトウェア更新➡はい

● 以降は、画面に従って操作してください。

自動更新の開始時刻を変更するとき

● 操作4で更新時刻設定をタップし、開始時刻を変更します。

■ ソフトウェア更新が完了すると

ソフトウェア書き換え完了画面が表示されたあと、自動的に再起動します。

● 再起動後、更新完了のメッセージとインフォメーションが表示されます。

ソフトウェア更新後に再起動しなかったとき

● 本機を再起動(強制的に電源を切る：☞43ページ)してください。それでも起動しないときは、ご契約のソフトバンクの故障受付(☞78ページ)にご相談ください。

保証とアフターサービス

■ 保証について

本機をお買い上げいただいた場合は、保証書がついております。

- お買い上げ店名、お買い上げ日をご確認ください。
- 内容をよくお読みのうえ、大切に保管してください。
- 保証期間は、保証書をご覧ください。

- 本製品の故障、誤作動または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 故障または修理により、お客様が登録／設定した内容が消失／変化する場合がありますので、大切な電話帳などは定期的にバックアップをとっておかれることをおすすめします。なお、故障、修理、機種変更の際や、その他の取り扱いなどによって、本機に登録したデータ（電話帳／画像／サウンドなど）や設定した内容が消失／変化した場合の損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 本製品を分解／改造すると、電波法にふれることがあります。また、改造された場合は修理をお引き受けできませんので、ご注意ください。
- ディスプレイ部やキー部にシールなどを貼ったり、接着剤などで本製品に装飾を施すと、改造とみなされることがあり、修理をお引き受けできない場合があります。

■ アフターサービスについて

修理を依頼される場合、お問い合わせ先（☞78ページ）または最寄りのソフトバンクショップへご相談ください。その際、できるだけ詳しく異常の状態をお聞かせください。

- 保証期間中は保証書の記載内容に基づいて修理いたします。
- 保証期間後の修理につきましては、修理により機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。

アフターサービスについてご不明な点は、最寄りのソフトバンクショップまたはお問い合わせ先（☞78ページ）までご連絡ください。

Memo

Memo

お問い合わせ先一覧

お困りのときや、ご不明な点などございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンクカスタマーサポート

総合案内
ソフトバンク携帯電話から 157(無料) 一般電話から 0800-919-0157(無料)

紛失・故障受付
ソフトバンク携帯電話から 113(無料) 一般電話から 0800-919-0113(無料)

IP電話などでフリーコールが繋がらない場合は、恐れ入りますが下記の番号へおかけください。

地域	電話番号
東日本地域	022-380-4380(有料)
東海地域	052-388-2002(有料)
関西地域	06-7669-0180(有料)
中国・四国・九州・沖縄地域	092-687-0010(有料)

スマートフォン テクニカルサポートセンター

スマートフォンの操作案内はこちら
ソフトバンク携帯電話から 151(無料) 一般電話から 0800-1700-151(無料)

ソフトバンクモバイル国際コールセンター

海外からのお問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡
+81-92-687-0025 (有料、ソフトバンク携帯電話からは無料)